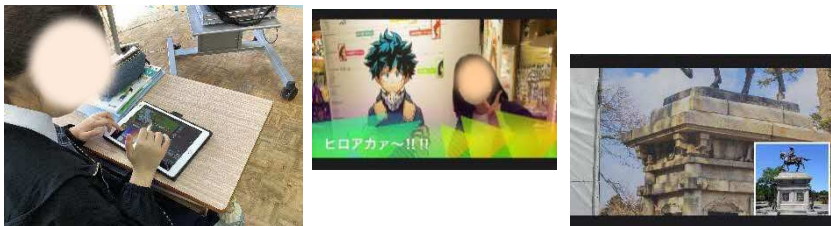


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

動的表現を利用したデジタル作品の制作における ICT 活用 「iMovie による修学旅行記の制作」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 中学部 3年（通常学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学习上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験の不足により、自分の思いや考えを相手に伝えることが苦手な生徒が多い。 制作活動には積極的であり、得意なことを生かしたり、友達のアイデアから発想を得たりして、自分なりに工夫して取り組んでいる。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	技術
	単元(題材)名	単元名「デジタル作品の設計と制作」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> デジタル作品の種類や表現手段の特徴を知る。 表現したい内容について構成と方法を検討し、様々な表現手段を活用してデジタル作品を制作する。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> 使用する写真を選択し、iMovie の様々な機能を使って動画を制作する。 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画作成アプリで修学旅行の思い出を伝える動画を制作することができる。 ○分かりやすく伝えるための様々な表現方法を知り、工夫して取り組むことができる。 ○写真を動画で表現することの利点や効果を知ることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心をもって取り組むことができるよう、修学旅行の記録写真を素材として使用した。 ・進捗状況や表現したいイメージに応じて効果的な表現方法を提案した。 ・情報モラルやタブレット使用のルールを確認しながら進めた。 ・作品を発表してお互いに評価することで、自分の作品を客観的に振り返ることができるようにする。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（iMovie）、TVモニター
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行を題材として取り上げ、普段使用しているタブレットを活用したことで、主体的に取り組んでいた。 ・表現したいイメージを具現化するために、教師の提案を受け入れたり、アプリの機能を試したりして、粘り強く取り組む姿が見られた。 ・発表と評価を通して自分の作品の良さを知るとともに、他者の作品からヒントやアイデアを得ることで、自分の作品の課題や改善点に気付くことができた。